

Title	宮内庁書陵部蔵「金玉双義」解題併翻刻. 中
Sub Title	
Author	石神, 秀晃(Ishigami, Hideaki)
Publisher	慶應義塾大学国文学研究室
Publication year	1992
Jtitle	三田國文 No.16 (1992. 6) ,p.41- 55
JaLC DOI	10.14991/002.19920600-0041
Abstract	
Notes	資料紹介
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00296083-19920600-0041">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00296083-19920600-0041</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# 宮内庁書陵部蔵「金玉双義」 翻刻併解題 中

石神秀晃

## 48 阿古根浦口伝之日記

天安元年正月廿八日、文德天皇住吉行幸有業平供奉侍于時中、  
將惠風冷、神身天翔、皆人アヤシミ思テ社壇守業平玉壇ノ上  
ヘ蹲テ云  
ワレミテモヒサシクナリス住吉ノキシノヒメ松イクヨヘヌ  
ラム

即大地動揺シテ松風ソヨメキテタ、ナラス中将社且近、歩寄  
ル玉ノトホソヲ開テ赤衣ノ童子出現、ノ返事アリ  
ムツマシトキミハシラナミミツカキノヒサシキヨ、リイハ  
イソメテキ

汝ト者吾也何本地、ワスレン哉此松景垂跡シテ多年、送ル其間  
利生幾ノ哉我即汝即吾也衆生利益ノ為、暫ク凡身、カルニ非ス  
ヤトテ明神

タツネテモキミニソカタル神ノマスアコネノウラノムカシ  
カタリハ  
中将返事  
イセノウミヤアコネノウラ、イニシヘライカテカ人ニカタ

## リハシメム

阿古根浦者阿ハ元性ノ理也五行本有常住ノミヤコヲ云古ト  
者天神七代ノ代ヲツカサトル事ヲ云也根浦トハイマ天神ノ身  
ヲ塵交、中将化スルヲ云也此ヲ阿古根浦口伝云ヘリ此理  
不生不滅、尋テモ難知云ヘリ伊勢云ハ阿古根云也万物皆是  
也

明神イセノウミカミノアコネノウラサヒテナヲユクスエソヒ

サシカルヘキ

返事伊勢ト云ハ阿古根也、陰陽天地ノ道ナレハ行末マテモ  
タユル事アラシサレハ久シカルヘシト云ヘリ返事ハ我モ自性  
妙体同シ阿古根カハル事ナシト云ヘリ伊勢物語ノ起り是也  
此時中将玉伝ノ阿古根浦ノ口伝、サツケ玉ヘリ此口伝ヲツク  
レル物語也秘々中千金莫伝

## 49 阿古根浦口伝

尋問者好色、神明往熱人間之栄用也天命尊国命尊阿古根浦余  
天始給之道也伊如命勢夫命安智苑之海余シテ嫁シテ子達、生テ  
夫婦之道不断、此人ノ命延、心イサマスル道也二神嫁道ヲシ  
出シテ読給フ哥

今古曾波伊勢之契毛始妻津礼伊勢契波未久賀礼

然則好色之道者神明權者振舞也誰敢此ヲ賤トセム哉汝ハ此我權化人丸之再生也ト云

50 奥書云

業平作

ワレミテモヒサシクナリヌスミヨシノキシノヒメマツイクヨヘヌラム

此哥ノ心ハ業平ハ住吉ノ現化サレハ此所垂レ跡イクヨヘテ此ヒメマツラミツラムトヨメリ大明神ノ御返事

ムツマシトキミハシラヌヤミツカキノヒサシキヨリイハイソメテキ

此哥心ハ汝ハ我化身也サレハ本末ノカハリコソアレムツマシトハシラヌカトヨミ玉ヘル也抑阿古根浦云ハイツレノ所アルソヤ阿古根云所ハ伊勢大神宮ノ辺也此阿古根浦ト云ニ義有差別一阿古根郡ノ内也二阿ト云ハ不生ノ義大義也天照大神宮国土ノ主トシテ神ヲツカサトリ玉ヘル義也阿字無辺ノ義此也古ト云ハ日神ノ昔アマノイハトニ籠リテ五男一女ヲ生奉シ夫婦契云也日本根本ノ神タル義ヲ以古ト云也根者此神ヨリ万物出生万神ヲ始ル本ナル故根云也浦ト云ハ日本ノ名也日本葦原ノ中津浦云也サレハ此故阿古根浦口伝天照大神ノ御事也サレハ住吉大明神二神日神ノ本身ヲ尋ヨト示シ玉也二神トハ則日神也暫ク五行神ヲ達為父子義ヲ造実体日神二神一体不二也此能可秘々深義千金莫伝也

非月哉 并絶入

51 一月ヤアラヌ春ヤ昔ノハルナラム我身ヒトツハモトノ身シテ

52 七月七日絶入事

先日ノ戌ノ時次ノ日入合トミヘタリ此実死タルニハ非

此時住吉婦テ政務ハカリ給ハン為住吉へ帰玉ヘリト云也只大明神ノ化現業平ナレリサレハ暫住吉婦ラムトテ其間死タル也此人ハ二歳斗阿保親王膝上自然出来シタル人ト云也サレハ伊豆内親王ノ子云ハ実義也サレハ明神ノ仮内親王ノ腹ヤトリ玉ヘルナルヘシ

三河義 女隱名

53 三河ト云ハ三密カタトル事也三河ノ先ト云ハ三密深密以テ迷類救スレハ難化ナル間苦ト云事也八橋云ハ八宗也八宗人ヲ濟度スル教ナレハ橋ト云也三密八宗サスコトハ也カラ衣キツナレニシト云ハ法身璽珞ノ衣キシ事云也ハルノキヌル旅迷路行テ衆ヲ度スル事ヲ云也

54 会合女事

隱名 初紅葉女二条后也 初草女中将姫也 若紫女 有常娘也 ムサシアフミノ女四条后也 ワスル草女染殿后也 白雲女染殿内侍也 款冬女定女娘 浮雲女当能娘也 唐衣女伊勢也 チ

クサノ女小町也 此外ハ口夫無是

55 ○中將入滅記

滋春作

元慶四年五月九日始発氣同廿八日子、時入滅也。滋春語云我本意存念アリテ好色ノ道ヲ昔、生死限有、領死三義ヲ必東山麓、送ヘシ北方ノ向テ終、又別無作事遺言不違此ヲ送ニ東山吉田、奥ニ早七日至陽成天皇、御夢中將直衣冠、空中立テ云

往昔遍照常法身 不生阿字作歌讚

不滅無死仮生死 仮死益類吉生死

知留良妙哉我余相身之余之人野闇木余遊賀奴便有登波 六道余不速之者出我余相便於憑妙余門野諸人元慶六年九月十三日宇治関白、末孫宇治中納言藤原朝雅卿能野參詣之時和泉國大鳥郡業平青衣、未時斗黒馬乘勢八九人斗、行相ケリ朝雅夢様ヲホヘテイカ無人成テヲハセシ人ノト云ケレハ當時ハ不退住吉侍也、諸玉ハン時ハ可尋侍ヘレハ朝雅怖心地返事キラくシカラテ向キタルニカキケツヤウ失ケリ朝雅帰京時此由、天奏シケレハ行平ノ中納言仰付テ住吉、辺尋問其義ナシ定ク帰ラムトスル夜、夢業平上衣立烏帽子キテウレシケ、咲テ詞ハナクテ云

思ヒテ、神代ノコトモワスレシナムカシナカラノ我身ナリ

トハ

ト読トミヘテ夢覺ケレハ不思議ト思テ行平下向シヌソレヨリ昔人彼人ヲハ大明神ノ化現トシレリ

七条ノ中宮、御夢業平ミヘテ云我衆生結縁、為好色ノ道ヲ旨セリ我住吉玉手ノ浦ニ侍ヘル也思所アリ願、和泉國行基菩薩建立地、我骨ヲ送り玉ヘリト侍、ケレハ刑部少輔平元各仰付テ

泉州へ送トスルニ又夢ミヘテ云我有ヘキ所、榊生タランヲ

シルシトセヨト侍ヘリケレハ榊ヲハカリニ尋アリキテ彼骨納侍リヌシミツ寺ト云今世渡守云也行基并建立地也大鳥ノ社ヨリ乾ノ方也後中將ノ孝養寺造、百部妙法花経納今ハ中將寺、浜寺ソハアリ此西塚アリ此中將ノ墓也又棟梁大和守ナリシ時中將ノ骨ヲ東山取テ大和国瀑下郡置テ寺作レリ今ノ在原寺是也奈良不退寺中將、父阿保親王、為造寺也其後延喜ノ御時在原寺ノ柱ノ虫食ノ哥

アリハラヤナカナルサトノミチトメテイワイカシツケヤトハシラセム

于時左少弁清原光住仰付中將ノ靈神崇今大和州ノ内ノ大明神也池田ノ社トモ云也是ハ天曆元年七月十一日、事也

56 物語次第

- 第一ツ、井ツ、哥 第二ワカムラサキ、哥段 第三アキカケ、イヒシハカリ、哥 第四サ、ノフネノ段 第五ツル、コ段 第六ナハシロノ段 第七イモセヤマ 第八ヌノヒキノマキ 第九アラウト 第十カラサキ、段 第十一ヒルノヲヤマ 第十二カヘルヤマ 第十三タワレシマ 第十四ムサシノ 第十五ミチノク 第十六スミノエノカミ 第十七トキハヤマ 第十八イハカミ 第十九ウスコケ 第二十アツカミ 第二十一キリノト 第二十二ヲニカキ 第二十三ソマ、人 第二十四ヲト 第二十五アリアケ 第二十六月カケ 第二十七イホリ 第二十八ソノハラ 第二十九アキノタ 第三十ミヤキノ 第三十一サカ人ラ 第三十二ヒロサハ 第三十三イチ人 第三十四ナホ人 第三十五ソメノヲカ 第三十六ミツクキ 第三十七アサツマ、人 第三十八イトス、キ 第

卅九思クサ 第四十ヲミナヘシ 第四十一ホトキス 第四十二アマト 第四十三シカ 第四十四ホソミチ 第四十五ウツノヤ 第四十六フシノネ 第四十七スミタカハ 第四十八マツヤマ 第四十九アサマヤマ 第五十タソモ 第五十一イスカハ 第五十二ナミノハナ 第五十三ムメカヘ 第五十四トフヒノヲカハ 第五十五イテハカサシ 第五十六ヲホトリ 第五十七ナルサハ 第五十八アシカラ 第五十九クルスノ 第六十ナカミノヤマ 第六十一ミクマノ 第六十二アサカスミ 第六十三ヒクシメナハ 第六十四イヒスサミ 第六十五イツミカハ 第六十六イサリヒ 第六十七アマノカハ 第六十八フネノトマリ 第六十九ハナタチハナ 第七十モチトリ 第七十一サノワタリ 七十二カタノハラ 七十三ハナサクラ 七十四ツユノヲマクラ 七十五スミヨシノサト 七十六ワキモコ 七十七ナカハマ 七十八イトスキ 七十九アスカハ 八十カスカノ 八十一アサミトリ 八十二ナカラカ 八十三アフイクサ 八十四ヤマト人 八十五イコマヤマ 八十六ヌマノアマ 八十七トキハノモリ 八十八タツタカハ 八十九ヨシサラハ 九十アフヒクサ 九十一ハシハシラ 九十二シハノト 九十三マストラ 九十四シキナミ 九十五イセノウミ 九十六ウカレツマ 九十七ヲニヤサフラフ 九十八ニキマクラ 九十九エノマキ 百アレツマ 百一井ツ、百二ミヨシノ 百三ハナミツ 百四ヲソサクラ 百五アリアケ 百六ウキクモ 百七ナラノサト 百八ユフタスキ 百九ナルカミ 百十ヤマトリノヲ 百十一ヒクシメナハ 百十二ユフタスキ 百十三シキシマ 百十四ウツタヘ 百十

57 ○伊勢物語百二十段異名

五マスカミ 百十六シキタヘ 百十七ヨコクモ 百十八ワカクサ 百十九カシハキ 百二十ヲソサクラ 百二十一ハヤミツ  
 ワカムラサキ ハヤミツ ヲソサクラ カシハキ ワカクサ  
 ヨコクモ シキタヘ ヤマトリヲ ユフタスキ ナルカミ  
 アリアケ ウキクモ ナサノサト カスカノ ヤマト人 イ  
 コマヤマ スマノアマ トキハノモリ タツタカハ ヨシサ  
 ラハ アフヒクサ<sup>二十</sup> ハシハシラ ハシノト マストラヲ ウカ  
 レツマ ニキマクラ エノマキ アレツマ 井ツ、<sup>三十</sup> イセノ  
 ウミ ミヨシノ ヤマスケ ニホトリ ナカラカ アサミト  
 リ サノフネ ツルノコ ヒクシメナハ ツエノヲマクラ<sup>本</sup>  
 スミヨシノサト ワキモコ イトス、<sup>五十</sup> ナカハマ アス  
 カハ ハナサクラ ハチスハナ トモチトリ サノ、ワタ  
 リ カタノハラ ハナタチハナ フネノトマリ アマノカハ  
 イヒスサミ イツミカハ<sup>六十</sup> イサリ火 ナハシロ イモセヤマ  
 ヌノヒキ アラウト カラサキ<sup>六十</sup> ナミノハナ ムメカヘ<sup>七十</sup> ト  
 ヒノヲカハ イチハヤシ ヲホトリ ナルサハ アシカラ  
 クルスノ ミクマノ イス、カハ カ、ミノミヤ<sup>八十</sup> カ、ミノ  
 ミヤ ヒルノヲ山<sup>八十</sup> カヘル山 タハレシマ ムサシノ<sup>九十</sup> ミチ  
 ノクニ スミノエノナミ トキハ山<sup>九十</sup> イハカミ ウスコケ  
 アツカミ キリト ヲニカキ ソマ<sup>九十</sup>人 ヲト アリアケ 月  
 ノカケ イホリ ソノハラ アキノアメ ミヤキノ サカノ  
 ハラ ヒロサハ イチ人 ナホ人<sup>百</sup> ソメノヲカ ミツクキ  
 アサツマ人 イトス、<sup>百</sup>キ 思クサ ヲミナヘシ ホト、キス

アマノト シカ ホソミチ ウツノヤ フシノネ スミタカ  
ハ マツ山 アサマ山 タフ、モ

58 物語五種異名

一 イモセモノカタリ ミヨノモノカタリ ツユノモノカタリ  
ツマムカヘノモノカタリ カタチカヘノモノカタリ

59 一交會女合始月日事

二条后貞觀七年七月十八日 深殿后同十二年三月十一日 阿  
子承和十四年三月二日 深殿内侍元慶元年六月廿九日 妹元  
慶六年十一月一日 四条后昌泰二年九月九日 三条町貞觀十  
七年四月十七日此外目錄不見云

60 伊勢物語師資相承血脉譜

彦波(彦波)武尊也天武天皇御宇石見国出現号入  
丸聖武御宇改名号赤人清和御宇天長二年  
生シテ号業平云云三人一體化現也  
(原本の系線を数字に代へて示す)

住吉大明神

正四位上行左近衛中将在原朝臣業平

平城天皇孫阿保親王五男母伊豆内親王也天安元年正月  
廿八日文德天皇住吉行幸時自大明神賜玉阿二書和詞為  
眼目

從四位下行右近衛權少将在原朝臣滋春

業平二男母染殿内侍元慶四年三月十一日伝受

正四位下行左中弁在原朝臣元方

業平孫左衛門權佐棟梁一男自伯父伝之仁和四年九月十三  
日伝受

正四位下行右大弁在原朝臣元清非哥人

元方舍第齊漸三年八月廿三日伝之

從四位上行民部卿在原朝臣惟純

元清一男寬平元年正月三日伝之

從五位上行左中弁在原朝臣業正

元清四男自兄伝受寬平二年六月六日伝受

從五位下行伯耆權守兼右馬權助在原朝臣宗屋

業正五男昌泰元年十一月廿九日伝受

正四位上行民部權大輔在原朝臣朝之

宗屋四男延喜三年八月一日伝受

正四位下行朝之一男後一条院御時(不明)朝臣公之

朝之一男後一条院御時依大神宮御託宣改姓号高防高防泰

仲刃古延喜五年八月三日伝受

從三位高階朝臣見国

公之四男中納言藤原俊忠為子改姓号藤原 元曆元年正月

十三日伝受

從三位兵部卿權中納言藤原朝臣俊忠

御堂関白大政大臣道長後胤三条民部卿大納言長家家孫三  
条大納言忠家二男号冷泉中納言依見国為子伝之元曆  
二年十二月廿九日伝之

從三位皇太后宮大夫藤原朝臣俊成

俊忠三男文治四年六月十三日伝受

從三位權中納言兼石見守藤原朝臣定家

俊成四男承久元年八月十三日伝受

正二位民部卿大納言藤原朝臣為家

定家一男承久三年七月十三日伝受

正二位侍從大納言藤原朝臣為氏

為家一男文永元年正月八日伝受

從四位下行右近衛少將藤原朝臣為世

從五位下行侍從兼美濃權介藤原為頭

為家五男 文永四年五月十一日伝受

文永十年三月十三日出家法名明覚住東國

金剛仏子阿闍梨能基

弘安元年十二月廿八於伊豆山伝受御堂関白後胤中山中

納言基俊末葉侍從兼治部權少輔能清孫治部權少輔兼肥

前守藤原朝臣朝基五男伊豆山密敎院法印覚玄第子也

僧快承

弘安十年七月廿五日伝授之

寿王曆 永仁七年四月十日伝受之

61 伊勢物語要文哥集 伊勢二字 二付

費長房記云 伊勢之契 示 艷粉好色之道 花散経云 伊生

男子 陰陽記云 伊孕 万象 勢 時 万種 文選云

物語云 ナメメキタル云 伯撰云 姿殿之中盡鬼変生宗

姓 麗資路分暮哉 漸近 視 兒粧 艷色甚幽玄 文選云

盛婦其 道弱 好色道也

物語云 此男カイマミテケリ云 万葉云 天命尊 石命

尊志天和嶋余開真見 初天勢初天氣

物語云 イトハシタナクテアケレハ云 政纏上陽玉妃十

歲 始入内入三廻之季 略 帝雲 質容無 鹿 心 花 開

哥云 カスカノワカムラサキノスリコロモシノフノミタレ

カカリシラレス 文集云 顔女為寵芳如薰紫霧風

物語云 イチハヤキ 住 論語云 五常ノ道早速百姓

有行 漢書云 漢高祖破四懸軍早速張良陛下二臣奇金助命

万葉云 古幾出留朝妻船之早速花波散氣利志賀唐崎

物語云 ミヤヒヲナムシケル云 遊仙唄云 十娘閑麗

史記云 首山國三千年之天仙艷 得果 或持雲母練丹

竈 或持紫蘭 属紅精其術疾早身比松煙 心澄 白雲飛

落行 至芳河之辺 聚客 仙人也 重 似 郡鶴之爪 于時於江

川率 見娃人之歌 首証士飛下嫁 彼見会 几意難止メ

三仙落浪 如翻 小松之風

物語云 マメヲトコ本文如古今 風方君文

物語 ケサウシケル女 文集云 好婦喜返相

妬婦惡幽識 一 密夫ハコヒイユサツ

語云 ホニハアラキカヨフ人ト云 文集云 一 搜者舜帝

父政途不賢 不事君 埋 傍山終不出頭 同集云 河

水等 如古今文 万葉云 恋余嶋渡之色之頭丹於波思登陀

余毛君知南無

語云 アハテナルイタシキ云 太平御免云 江南之旧都家

未半 西京東京人去宮中如荒

語云 草ノ上ヲチル露云 草ハ如異名 本文如古今 文選

云身ハ有愁ハ歎露易消 心有思霜恨易消

物語云 ヨモフケニケレハ云 漢書云 漢皇城閑 軍兵難

通 万葉云 白惶之香椎宮之御戸閑天折留誓言哉神ノ受南

無 又云 我宿波菊売市非祢登毛四門之門辺丹人驢終那利

語云 アメノイタフフリケレハトハ雲上人也

記云 秦始皇暴惡 銘肝虎心 良盛 生卒降塵 如雷電神ノ  
破雲 侍臣 走散 土蕪不絶 山野 似雨脉之冉 天上天下  
播動 振塵 内官外官 害意利刃 感宮 燒失之煙 卑 誰歎 長生不  
老 嚴損 不悲

物語云 ヲトコ弓ヤナクヒ 負テ戸口タテリ云 將軍記云

吳越ノ 戰未断 三將軍 四兵 率皆亡 越國 既欲 傾 后宮

以計 弓箭 滅 多敵 同文云 吳王 越王之 戰 掉 篇 舟 分

五湖之波 是 宅 宣 幼 一 箭 射 千 人 武 故 也 宅 没 之 刻 宅 妃

參 右 三 廻 之 未 質 維 妃 艷 甚 心 持 弓 箭 武 如 戰 害

語云 アナヤトイヒケレト云 梁武帝 御 宇 政 跡 云 非 哉 朕

遇 仏 法 不 修

語云 アシスリヲシテ ナケトモカヒナシ云 陳王 明記云

恨 至 深 夫 妻 之 別 摺 泣 争 テ 淚 尽 悲 至 テ 切 父 母 之

別 拵 叫 何 声 尽

語云 伊勢ヲハリノアハヒ云 新朗 詠云 四 五 月 交 雲 外

語 二 三 更 後 雨 中 声

又云 ウミツラヲユクニ云 万葉云 我妻 賀 不 会 成 行 方 那

禮 波 海 面 佐 江 余 神 波 潤 氣 利

又云 ナミイトシロタ云 涙アラハナリト云 心也 文集云 隱士

閨 扉 白 勿 語 人 入 覺 其 一 也

哥云 イトノシクススキウカタノコヒシキニウラヤマシクモ

カヘルナミカナ 史記云 丈引 被 流 道 州 穆 王 勅 勤 恋 旧

里 恨 淚 不 乾 袖 文 集 云 昭 君 玄 胡 國 天 遙 鏡 漢 宮 之

雪 居 涕 淚 関 干 漢 書 云 漢 武 恣 亡 婦 淚 万 葉 云 恋 介

物語云 アサマノタケニケフリタツヲミテ云 猿丸 大夫 集

云 日 數 經 波 可 衰 淺 猿 哉 淺 猿 思 之 年 波 經 介 氣 利 長 盛 記 云

遠 見 眼 破 雲 路 遙 望 心 疲 汝 上 悲 哉 滅 亡 之 恨 思 成 幾 山

之 嶽 痛 哉 歎 成 幾 海 之 底 三 廻 播 不 忘 二 子 之 別 四 季 未

尽 一 身 之 淚

物語云 ミノホノ心也 苦 宛子 經 注 云 五 常 水 潤 万 人 六 形

藏 忠 千 罰 内 典 不 明 毒 水 法 性 ノ 心 水 花 ム 經 云 衆

生 心 水 云

物語云 水ユク河ノクモテナレハ云 白 樂 天 本 ソ マ 云 身

生 下 娃 仕 上 帝 心 不 及 橋 立

又 物 語 云 ソノサハノホトリノ木ノカケ云 忠 仁 公 一 門 ノ

大 木 也 史 記 云 君 主 似 大 木 万 景 隱 人 百 官 如 葛 藤 ノ 這

下 榮

又 物 語 云 カキツハタイトヲモシロクサキタリ云 後 撰 云

ウヘラキシムカシノヤトノカキツハタイロハカリコソカタミ

ナリケレ 貞 親 政 要 後 表 云 西 湖 民 之 家 煙 絶 九 ヶ 月 此 者 早

魃 水 ツ 絶 故 也 賞 明 臣 薇 子 直 國 政 即 日 風 雨 任 心 潤 姓

家

物 語 云 ツタカヘテノ葉シケリ云 文 集 云 襄 公 ハ 内 構

軋 坤 長 房 乘 竹 飛 青 天 王 番 曳 鶴 空 山 吹 笙 嘉 巫 殖 花 木

芳 香 供 尊 又 云 葛 藤 氣 榮 係 木 助 筋 披 天 長 臣 下

ノ 依 君 榮 平 如 此

語 云 スノロナルメヲミル云 漢 書 云 秦 皇 戰 奏 武 二 見

碎 目

語 云 富 士 山 ヲミレハサ月ノツコモリニ雪イトシロクフリテ

史記云 漢王之雲髮落 榮共 聖帝之雪鬢 替老共  
後注老經注云 魯哀公榮不半下位 籠雪 鑠

哥云 トキシシラヌ山ハフシノネイツトテカカノコマタラニユ

キノフルラム 長房記云 綴綴我仕仁帝 屬卑姓之民 昇皇

林之位 何今得仙 得為寿久昇雲德用 尚書云 榮 承相

昇皇林之位 命 囊得 王母之德

語云 ソノヤマハコニタトヘハヒエノ山ハタチハカリカサ

ネアケタラム 六帖集云 ミネタカキフシノミヤマメク

リキテタモトツキヲヤトシツルカナ 書子云 王娃蒙天

命位既登大山

語云 ワタシモリハヤフニノレト云 史記云 大公主政

如古今 臣政伝云 三公之仕 臣守 天朝 如渡守倫船繫

不レ失

語云 白鳥ハシトアシトアカキ云 文集云 鳥公云 如今

今

物語云 アテナル人云 文集選云 燕照公 漢武 太子時ノ勝

人 毛詩云 二月花薰 袖是 春 当人 三秋 九月也 月来 枕

是 秋 明 夫

語云 父ハナラ人ニテ云 文集云 哀丹昔魯州ノ 魯人 今

者 陽州ノ為 諸候 同集云 長土房道州民 魯人 難土高位

男ヲセナト云事 万葉云 夜毛曙波 狐丹食 乎多懸之 未丹嶋勢

男於 遣津留 又云 信乃路 薄井之山 余勢 男波有 登黒沙之 辺丹

我波 有哉

語云 サルサカナキ云 老子經 仁義九智 信五常 世人行

語云 トキニアヘルト云 伯撰云 帝王 惠 普 臣 下 相 時

道也 語云 ナマコトロナル女云 長能記云 貫之者得 和語之

体 有 好 心 其 詞 美

語云 カヘテノハツモミチト云 万葉云 一重山 幾重霞之

隔 孔 登 春 ノ 紅 葉 之 色 者 不 隱 文集 紅葉 賦 云 語 真 寺 詞 欽

春 霞 靡 峯 三 春 之 紅 葉 比 色 白 雲 懸 嶽 二 隱 之 霜 瑩 由 食

語云 イサカナルコトニ付云 文集云 縦折 万春之花

疎 榮 葉 北 露 置 消 二 不 漏 縦 詠 千 秋 之 月 披 世 事 西 風

来 一 去 論 不 何 無 常 世 ヲ 憑

哥云 ツツ井ツツ井ツツニカケシマロカタケスキニケラシナ

イモミナルサキ 大平御覽云 堯舜太宗ノ御代政道昔 調

論語云 五常調亡事 孝アリ 陰陽記云 小男小女必七歲

始 嫁 道 長能記云 業平持好色 哉 五歲語夫婦ノ交 梁

武帝御宇政跡世記云 梁武帝御時 幕 魯 密 盜 天 財 入 地 爐 成

緣 林 走 山 掠 國 成 白 波 踊 海 覆 船

語云 イ井カイトリヒチテケコノウツハモノニモル云 政

纏云 周公旦世得行為 天臣政道濃 心堀塊 馬融

繼孔子之跡 五常志有仁義

語云 此ラアケ給云 文集云 君有 道不奢 四夷 臣

有 行 無 閑 戸

哥云 アラタマノトシノミトセフマチワヒテタコヨヒコソ

ニシマクラスレ 万葉云 今年行新嶋守 波人於紫毛 見留目之

數波不知登曾思 又云 思 悩 新 手 枕 於 今 夜 勢 波 夢 尔 毛 本

夫ヤ恨ム

哥云 アツサユミマユミツキユミトシヲヘテワカセシカコト

ウルハシミセヨ 文集云 身老白浪面皺重 幾寿ノ重  
齡 次可頭<sup>ツ</sup> 万葉云 千葉破千々之神達余誓言懸我不忘  
登夫丹云勢夜 臣軌注云 太宗ノ政徳何勝 万臣致謀惡  
道石猶不堅

哥云 ヲモホヘス袖ミナトノサハクカナモロコシフネモヨセ  
ツハカリニ 太平御覽云 黃帝六婦之恨袖淚成池 玉舩寄  
胸 思猶深

哥云 ミナソコニ我ヤミユラムカハツサヘミツノシタニテモ  
ロコヘニナリ 公住家集序云 非人倫知其道 礼ヲ者水  
住蛙 水拳<sup>ス</sup> 声何ヲ婦孺之鳴続 有情哉太和詞ノ媒誰有  
心者不嗜<sup>ニ</sup>此道

哥云 ツミモナキ人ヲウケヘハワスレクサラノカ 陰陽記云  
惡人倭<sup>マ</sup> 君咒咀神必因理罰

哥云 イテ、イナハカキリナルヘシトモシケチ  
キユルモノトモコヘラキケ

返云 イトアレナクヲキコユルトモシケチキユルモノトモ  
ワレハシラスナ 万葉云 深山之葉若之本之下草丹猛火消  
為留鹿波何曾毛 文集云 関所成猛火類 水辺之燭 五蘊飯  
量ノ質形如<sup>ニ</sup>風前之雲 炎経云 猛火消風<sup>ル</sup>形登<sup>ル</sup>煙 羅武

天皇和怙哥云 吹風余消猛 火之悲 佐夜形 水毛煙登曾成  
哥云 ナノミタツシチノタラサハケサツナクイホリアマタト  
ウトマレヌレハ 万葉云 結夫為<sup>イ</sup>テ千代毛経可<sup>イ</sup>若女賀未黒髪

之色毛不替  
物語云 ムカシアタカヘイク人 万葉云 海渡里又山越  
手見渡 波猶不審 遠方里人

哥云 イテ、ユクキミカタメニトヌキツレハワレサヘモナク  
ナリヌヘキカナ 三教損帛云 隣有<sup>ト</sup>裳春<sup>ハ</sup>不<sup>ク</sup>杵<sup>ク</sup> 孝  
経云 孝子有裳 文集云 倭主出<sup>レ</sup>世百<sup>ハ</sup>姓悲<sup>シ</sup>裳<sup>ヲ</sup>聖主出<sup>ル</sup>  
世<sup>ニ</sup>万<sup>ハ</sup>民喜<sup>ビ</sup>患<sup>ニ</sup>

語云 イモウトノイトヲカシケナル云 史記云 形<sup>カ</sup>靈<sup>カ</sup>  
兇麗者常蒙<sup>ル</sup>天客之愛 意詔言 惡者<sup>ハ</sup>鎮<sup>ヘ</sup>得<sup>ル</sup>鬼魅  
之伐

哥云 トリノコヲトヲツト<sup>ラ</sup>ハカサストモ思ハヌ人ヲヲモ  
フモノカハ 陳鴻報恩記云 徳<sup>ニ</sup>至<sup>レ</sup>徳父<sup>ノ</sup>徳恩<sup>ヲ</sup>至<sup>レ</sup>恩師<sup>ノ</sup>与<sup>テ</sup>恩縱  
持鴻子空上百數百疊 難報其徳縱牽泥水中千渡乘其人難  
謝師恩

返哥云 アサツムハキヘノコリテモアリヌヘシタレカコノヨ  
ヲ 文集云 不<sup>レ</sup>憑<sup>ル</sup>傍<sup>人</sup> 縦<sup>ニ</sup>朝<sup>露</sup>殘<sup>ル</sup> 晚<sup>景</sup>難<sup>レ</sup>契<sup>ル</sup>後  
会可恨<sup>ニ</sup>先<sup>言</sup>ノ縦<sup>ニ</sup>山<sup>花</sup>殘<sup>ル</sup> 春<sup>風</sup>難<sup>レ</sup>結<sup>ル</sup>芳<sup>契</sup>

哥云 フクカセニコソノサク<sup>ラ</sup>ハチラス<sup>ト</sup>モア<sup>ナ</sup>タノミ<sup>カ</sup>タ  
人ノコ<sup>ハ</sup>ロ<sup>ハ</sup> 文集云 縦<sup>ニ</sup>旧<sup>季</sup>之<sup>花</sup>殘<sup>ル</sup> 梢<sup>ニ</sup>待<sup>テ</sup>後<sup>春</sup>難<sup>レ</sup>

憑<sup>ル</sup>是<sup>レ</sup>傍<sup>人</sup>之<sup>心</sup>  
又哥云 ユクミツニカスカクヨリモハカナキハ思ハヌ人ヲ思  
フナリケリ 本文如古今

哥云 ユキヤラスユメチヲタトルタモトニハアマツソラナル  
ツユヤクラム 伯撰云 思昔夢未<sup>レ</sup>通

語云 男ヲセム云 貞觀政要 太宗曰 我得<sup>ニ</sup>帝<sup>徳</sup>思<sup>レ</sup>國  
田耕 疲有<sup>レ</sup>其中

哥云 モトセニヒトセ<sup>テ</sup>ラヌツクモカミワレ<sup>ラ</sup>コフ<sup>ラ</sup>シ  
ヲモカケニタツ 陰陽記云 狐<sup>狼</sup>者<sup>ハ</sup>滿<sup>テ</sup>百<sup>年</sup>致<sup>ス</sup>人<sup>性</sup>喪<sup>ル</sup>

故名夜行神号裳神

語云 ムハラカタタチニカトリテ 文集 恥如出賢人前痛如入荆棘中

哥云 キノフケフ雲ノウチヨリカケロフハ花ノハヤシラウミトナリケリ 山田王子山家賦云 山花成波 遲 春朝嶺雲

似海遠 秋暮 文集望海賦云 白雲余波 蒼海朝青松染霧暮秋夕

語云 道長セル出也 長房記云 我得仙為此道翁年久

語云 メハタカイナカラ 漢書云 季夫人天朝之寵愛不幸短命早滅 惜後人或泣或成貝 彼欤

語云 ソノ中アリケルカタイヲキナ 文集云 金体世珍宝号嘉体玉童世勝 人号嘉質

語云 イタシキノシタニハイアリク 秦政伝云 王家三臣天下無双之高位也人賞之后雲上人拾之葡床下

語云 ヲトコナマミヤツカヘシケル 後漢書云 季夫人天子后宮夜専枕昼不離床美宮仕無姬片時無不見見君

語云 イサコノヤマ云 長能記云 登小利山相漢白浪底又語云 ソノタキモノヨリモトナリ 左伝云 天台山峯

滝天姬来濯不浄之恠

哥云 ワカヨヲハケフカアスカトマツカヒノナミタノタキトイツレ具如上 万葉云 落積留涙之滝之白糸之乱天物於思悲之具如上

哥云 アフナノヲモヒハスヘシ 費長房記云 天仙少通雖得飛行未出生死悲之琵琶引奥書云 尋陽ノ江月

從波出入波 鑪峯春花從雲 發散雲夜 琵琶音急雨浸

袖悲 旅松之友 曉鐘響 霜哀 草庵之夢 自掃昔

万葉云 我妻賀不來 晚波悲 夕櫛之板戸毛不閉 古曾寢礼

語云 ロウシテ 聖武勸誠記云 人身不全 身為身隨人故也 改徳不全 寵不言

語云 女ノ身カサヒトツフタツイテキニケリ 万葉云 色鳴之大和 鳴根昔余里加左子胡左女之契不絶 陰陽記云 小

男小女必知 其道加左七歲 得其媒 加右十歲 成其勢

語云 時モイトアツシ 煩熱義也 心ムツカシキヲハアツシト云フ 秦政伝云 馬融鄭玄 礼子之後 第得賢得行為

天子之宝 恭王 惡彼 移 進州 其恨未晴 心煩熱 焦身

哥云 ソムトテモニハイラヌモノナレトヨノウキコトヲヨソニナルテフ 白樂天書云 縱得仙道 不知入雲之道 再

婦 凡夫

哥云 カスノニ思ヒラモハスヒトカタミヲシルアメノフリサマサレル 万葉云 泣流須身於知雨に 波身佐江水

樽登成之潤毛哉

哥云 ヲヒコトニカハツノアマタナクタクニハミツコソマサレ

アメハフラネト 順西行賦云 花依風散水増蛙氣 人依友知情雨依雲降

哥云 ヲキナサヒ人ナトカメソカリ衣ケフハカリトソタツモ

ナクナル 漢書云 漢高祖之龍顏衰 白頭後日少 周燕王

馬來忽落不聞遠声 古撰云 近來波憂身衰氣里奈良山之青

木之下葉色替礼留

長能私記云 今伊勢物語為レ体表載ニ古撰上徹之詞裏構史  
記漢書心詞翻五音宗兼ニ法道若紫ノ契結春日野草葉  
之末不斷思煙添 淺間ノ嶽空雲見流涙浪角田河  
之晚空聞摧哀感五条暁雲御手洗河捧弊顯神不受理  
致朝臣双車悟生死妄見之類一登小利山嘲漢滝白浪  
底下齋宮宇佐之使再行神社之祭礼下心於東海道  
詞於奥國之境又云尋父之深跡平城第三之皇子阿保親  
王第五之息訪母之由祖桓武第八之寵姬伊通内親王第一之  
男春秋二八之歲忝預玉冠仕文德清和之二君載錦綾之皇  
霜ヲ不憚王位嫁二条五条之后不恐神慮犯祭宮椶子  
而五十六歲元慶第四之天中夏下旬之候於洛陽城東原逝去  
早

夫和哥神代始テ于今不絶道ナレハイヒノコシタル風情ナ

クツケ殘シタル詞モナシ末世人イカテカ新取ナスヘキ  
シカアレト人ノ心面ノ如シトテ人每心替モノ也哥又心ヲ種  
スルカユヘ二人ノ哥少カハラスト云事ナシ自モヒキカ  
ヘツレハユルサルニヤ大方思ヘキ事ハ詞ハ古ヲ尋ネ風情ハ  
新シキヲ求ム哥又人ヨリテ読カケヘシ兒女房ノ哥ハ強ツヨ  
キモハシタナシサレハトテトラヘタルトコロノ正体ナシ  
面ヤハラカヨミナシテ下ヲカシキフリアルヘシ僧俗ノ哥ハム  
ネ腰スソヲ読縁ノ字ヲスヘ縁ヲトシノケスカナ  
ヲイタハリカナヲエレリカナヲアマサス助字ヲシカスメ字ヲ  
シ異名ヲ存詞ノ上ヘ下ヲセス心ヲアマサス上ヘ下ヲ存哥ノ腰  
ヲシリワケ一トシテカケヌレハワロシトス先ムネ腰スソト云

ハ初ノ五七ノヲハリハ心中ノ五七ノニ早ヒハ腰七ノウツリ  
ハスソ也タトヘハ

サミタレヤフルノタカハシ水越テナミハカリコソタチワタ  
リケレ

此三所縁字縁ノ詞ニテモヲ云フヘシ縁字ト云ハシウク也シ  
ウクト云ハ物ヲ二カサネタル也タトヘハ

五月雨ヤフルノタカハシト云フニ付テ雨ノフルトモ橋フル  
キトモ聞タルヤウナル事也

此縁ノ字心腰スソヲキタルヲヨキ哥トス又腰縁ノ字ヲスエテ  
カタノニスエサルヲハソコヨハキ哥トコソイハルレトモ是  
モヨキ哥也又心スソ明句体ヲ縁ノ字スエヌレハニホヒヒキ  
ワタリテコシニツクラル事モアリ又腰ハカリスエツルヲハ  
一フシ哥ト名付テコノミヨム人モアル也カヤウ縁字ヲシツラ  
ヒヨミツルヲハ巧哥名付

一縁ノ詞シウクニハ非ス只事タヨリ喩ヘハ露アラハラクト  
ツクルヤウノ事也此縁ノ詞ヲサキノ如クシツラヒヨミツル  
ヲハ只事哥ト名付ク巧タ事聊モ善悪アルヘカラス皆ヨキ哥也  
一縁ヲトシケサレト云ハ露トアラハヤカテラクトツクヘ  
キヲナンノトシテラクトツケツレハ詞ハヘタリテ縁ト  
ヲノク物也其チカツケチカツカサラムハ無力タマノチカツ  
クヘキヲチカツケサルヲワロシトス  
一飯ライワタルト云ハケスシキ飯ヲ句末ヲカントスル事也  
ケスシキカナト云ハヌタレソ是也句ノ末ト云ハ哥ノ本末ノヲ  
ハリノ飯也是モイタハラム句モミタレ哥モ損ツヘキヲハユ  
ルスタマノイタハリツヘキライイタハラサルヲ嫌也

一飯ヲエルト云ハ強<sup>コヘキナリ</sup>飯和<sup>ナカ</sup>ナル飯<sup>フ</sup>アリ替<sup>ル</sup>事也 和<sup>ナカ</sup>ナルカ  
中<sup>ニ</sup>ヤハラカナルハノ文字也<sup>二</sup>ト<sup>一</sup>トラハノ文字<sup>取也</sup>

一飯<sup>アマサ</sup>レト云ハ物ノ道理ヲ<sup>云</sup>極<sup>マ</sup>マタナトカタサ  
ムイタハ<sup>ル</sup>ナ<sup>ル</sup>カ<sup>ナ</sup>ヲ<sup>イ</sup>ル<sup>事</sup>也

一助字<sup>セ</sup>ヨト云ハキトミトイトモト也<sup>ハ</sup>喩<sup>ハ</sup>谷深<sup>アラムコ</sup>ハク  
聞<sup>ハ</sup>ハ<sup>深</sup>ト<sup>タ</sup>スク<sup>ヘ</sup>シ<sup>フ</sup>カ<sup>ミ</sup>ト<sup>ア</sup>ラム<sup>ニ</sup>ト<sup>ナ</sup>リ<sup>サ</sup>シア<sup>ハ</sup>深  
キ<sup>ニ</sup>テ<sup>モ</sup>アル<sup>ヘ</sup>シ<sup>キ</sup>ト<sup>ミ</sup>ト<sup>ヘ</sup>シ<sup>ノ</sup>也<sup>イト</sup>モト<sup>同</sup>前<sup>也</sup>

一異名<sup>存</sup>ヨト云ハ喩<sup>ハ</sup>郭公トアラムニトナリ<sup>拾</sup>合<sup>シ</sup>テ<sup>タ</sup>  
ヲサトモ替<sup>ヘ</sup>シ又句ノイラム時ハ郭公シテ<sup>タ</sup>ヲサトモツ  
ク<sup>ヘ</sup>シ<sup>タ</sup>ト<sup>ヘ</sup>ハ<sup>郭</sup>公<sup>ハ</sup>名<sup>也</sup>シテ<sup>ノ</sup>タ<sup>ヲ</sup>サ<sup>ハ</sup>ナ<sup>ノ</sup>リ<sup>也</sup>諸<sup>ノ</sup>異<sup>名</sup>  
如此<sup>カ</sup>レ<sup>ノ</sup>云<sup>ハ</sup>シヤラム方ナキ時ヨマセム為也<sup>其</sup>者<sup>ス</sup>クニ  
イ<sup>ハ</sup>ン<sup>時</sup>ハ<sup>必</sup>求<sup>ヨ</sup>ム<sup>ヘ</sup>カ<sup>ラ</sup>ス

一安<sup>字</sup>セヨト云ハシユメ字也<sup>喩</sup>ケスシキ<sup>飯</sup>寄<sup>合</sup>イ<sup>キ</sup>タ<sup>ハ</sup>シ  
ク<sup>キ</sup>コ<sup>エ</sup>ム<sup>時</sup>ハ<sup>シ</sup>文<sup>字</sup>シ<sup>テ</sup>ヤ<sup>ス</sup>ム<sup>ル</sup>也 時鳥ナクヤ五月ノ短  
夜<sup>モ</sup>独<sup>リ</sup>シ<sup>ヌ</sup>レ<sup>ハ</sup>ト<sup>云</sup>ヤウノ事也<sup>ヒ</sup>ト<sup>リ</sup>シ<sup>ミ</sup>ト<sup>シ</sup>キ<sup>ト</sup>シ<sup>イ</sup>  
ヒ<sup>ト</sup>シ<sup>ナ</sup>ト<sup>云</sup>様ノシ<sup>文</sup>字<sup>也</sup>

一詞ノ上下ヲセサレト云ハ先<sup>ヤキ</sup>云ヘキ事<sup>後</sup>云事也<sup>喩</sup>アシヒ  
キノ山<sup>ト</sup>云山<sup>ノ</sup>アシヒ<sup>キ</sup>ト<sup>云</sup>様ノ事也  
一心ヲアマサシト云ハタエナル事<sup>ア</sup>ク<sup>ハ</sup>ラ<sup>ス</sup>シ<sup>テ</sup>カ<sup>タ</sup>ク  
ニ<sup>イ</sup>ヒ<sup>ハ</sup>テ<sup>句</sup>ヲ<sup>サ</sup>サ<sup>ント</sup>テ<sup>シ</sup>エ<sup>ウ</sup>ノ<sup>詞</sup>ヲ<sup>ス</sup>フ<sup>ル</sup>事<sup>也</sup>  
一上下ヲ存<sup>ヨ</sup>ト云ハ上下<sup>ニ</sup>種<sup>アリ</sup>一<sup>秀</sup>句<sup>ニ</sup>キ<sup>シ</sup>レ<sup>也</sup>  
秀<sup>句</sup>ノ<sup>上</sup>下<sup>云</sup>ハ<sup>喩</sup>ハ<sup>浪</sup>ヨ<sup>ル</sup>目<sup>モ</sup>ア<sup>ハ</sup>ス<sup>ト</sup>云<sup>ハ</sup>付<sup>テ</sup>ヨ<sup>ル</sup>  
八<sup>面</sup>タ<sup>テ</sup>レ<sup>ハ</sup>上<sup>也</sup>夜<sup>ヨ</sup>ル<sup>ハ</sup>カ<sup>ク</sup>シ<sup>タ</sup>レ<sup>ハ</sup>上<sup>下</sup>ト<sup>云</sup>也<sup>二</sup>  
キ<sup>シ</sup>レ<sup>ノ</sup>上<sup>下</sup>ト<sup>云</sup>ハ<sup>コ</sup>ノ<sup>ヲ</sup>イ<sup>ハ</sup>ム<sup>ト</sup>テ<sup>彼</sup>云<sup>是</sup>也<sup>喩</sup>ハ<sup>我</sup>身  
ノ<sup>コ</sup>カ<sup>ル</sup>ノ<sup>事</sup>ヲ<sup>イ</sup>ハ<sup>ン</sup>ニ<sup>ハ</sup>チ<sup>思</sup>ハ<sup>紅</sup>葉<sup>船</sup>ナ<sup>ト</sup>ヲ<sup>コ</sup>カ<sup>レ</sup>テ<sup>カ</sup>

ナシキトイハ、我身ノコカレシ思ヒシラル、カ如シ紅葉ノコ  
カレハアラハシタレハ上也我身コカレハカクレタレハ下也  
加<sup>様</sup>事<sup>カ</sup>キ<sup>ア</sup>ハ<sup>セ</sup>テ<sup>ヨ</sup>ム<sup>ラ</sup>上<sup>下</sup>ヨ<sup>メル</sup>哥<sup>ト</sup>云<sup>也</sup>

一哥ノ腰ヲレヲ知りハクルト云ハ哥トイハ前<sup>ヤキ</sup>云<sup>タ</sup>ク<sup>ミ</sup>タ  
事<sup>二</sup>首<sup>也</sup>六<sup>義</sup>ヲ<sup>ハ</sup>カ<sup>テ</sup>リ<sup>ト</sup>イ<sup>エ</sup>ト<sup>モ</sup>実<sup>ハ</sup>二<sup>首</sup>籠<sup>ヘ</sup>シ<sup>腰</sup>ヲ<sup>レ</sup>  
ト<sup>イ</sup>ハ<sup>三</sup>首<sup>アル</sup>ヘ<sup>シ</sup>一<sup>腰</sup>縁<sup>ノ</sup>字<sup>ヲ</sup>ス<sup>エ</sup>ス<sup>シ</sup>テ<sup>愁</sup>カ<sup>タ</sup>ノ  
ニ<sup>アル</sup>是<sup>也</sup>二<sup>巧</sup>タ<sup>ノ</sup>事<sup>ワ</sup>タ<sup>リ</sup>テ<sup>発</sup>句<sup>物</sup>ヲ<sup>云</sup>切<sup>テ</sup>是<sup>ヲ</sup>別<sup>ニ</sup>  
ナ<sup>シ</sup>タル<sup>是</sup>也<sup>此</sup>三<sup>腰</sup>折<sup>マ</sup>ヨ<sup>ハ</sup>サ<sup>レ</sup>テ<sup>哥</sup>ノ<sup>道</sup>マ<sup>ト</sup>ウ<sup>物</sup>也<sup>能</sup>  
是<sup>ヲ</sup>サ<sup>ト</sup>リ<sup>テ</sup>人<sup>善</sup>悪<sup>ヲ</sup>モ<sup>サ</sup>ト<sup>リ</sup>我<sup>ト</sup>ヨ<sup>ム</sup>ヘ<sup>キ</sup>也<sup>此</sup>外<sup>病</sup>ヲ<sup>サ</sup>  
ル<sup>ヘ</sup>シ

一四病ト云岸樹 風燭 浪船 落花 是也  
名目云カムシユ初一二一同フウソク同句二四同

七言 六七同

キミカヨノ <sup>キミカヨノ</sup> <sup>キミカヨノ</sup> <sup>キミカヨハ</sup> <sup>キミカ</sup>  
ヨソ <sup>ヒ</sup>サ<sup>シ</sup>カ<sup>ル</sup>ヨ<sup>ノ</sup> <sup>ヒ</sup>サ<sup>シ</sup>カ<sup>ル</sup>ヨ<sup>ノ</sup> <sup>ヒ</sup>サ<sup>シ</sup>カ<sup>ル</sup>ヨ<sup>ノ</sup>  
キミカヨモ <sup>ヒ</sup>サ<sup>シ</sup>カ<sup>ル</sup>ヲ<sup>モ</sup> 每<sup>句</sup>ヲ<sup>ナ</sup>シ<sup>カ</sup>ナ<sup>アル</sup>ヘ<sup>シ</sup>何<sup>ニ</sup>  
モ一<sup>有</sup>浪<sup>船</sup>ノ<sup>病</sup>也

八病云 同心 乱思 欄蛛 花橘 老楓 中鈍 後悔  
是也

一トウシムト云ハ詞ハカハリテ心同シ<sup>喩</sup>アマヲフ<sup>ネ</sup>イ<sup>マ</sup>ヤ  
ナ<sup>キ</sup>サ<sup>キ</sup>ヨ<sup>ス</sup>ラム<sup>ミ</sup>キ<sup>ワ</sup>ノ<sup>タ</sup>ツ<sup>ノ</sup>コ<sup>エ</sup>サ<sup>ハ</sup>イ<sup>ナ</sup>リ  
ニ<sup>ラン</sup>シ 第一<sup>初</sup>一<sup>字</sup>第<sup>四</sup>句<sup>一</sup>字<sup>同</sup>

コヒシサハラナシ心アラストモコヨヒノ月ヲキミ、サヲ  
メヤコ文字也

三ラムラウ初五終一字第五句終一字同ソラシラレスユキソ

フリケル

四シヤコウ第三句終一字終七終一字同

ホトヘツカヘマフキハサカナラムコヒシキトキノカタミ  
ニモセム字也

五クエキチトイハ名物ノ題カクス事也喩キク題エテキクカ  
ラトヨミテキクト心得サセムト思ヒアルヒハ月ヲ題エテ心  
ノツキテトテ月ヲ心サセムナト思フ様ナル事也

六ラウヘウトイハ題ヲハヤサル事也喩紅葉ヲ題エテハラ  
クラノ山ノシタモカクレスコカレタルヨシヲモヨミハヤシ又  
花ヲ題エテハシラクモカトモマカウホトイミシキヨシヲコ

ソモテナスヘキニワツカミユルヨシヲモテナス事はラウヘ  
ウ也一此外又連句ヒテ三ナラヒタルカナヲキラフ也喩春ノ  
ノナトイフヤウキラフ也マヨハスカナスフヘシ

一テニハノ字トテ一句モ二句モ三句モヘタテイヒテナト不  
可有以同前也

一不字又スハ不字嫌也喩アラストテ一句二句ヘタテセ  
ヌナト不可有

一アヒノカナヤクソク一イム字モヤクソク也

四病ノサシキヲキラフ一カシカマシキカナトテ三句三四  
句字キラフ也

一サシアフカナ五上リムトウ五下リムトウ七上リムト  
ウ七下リムトウ是也一詞ノヤマヒトテラムケリナトイフ

ヤウナル詞ヲ句ヲヘタテ二所ヲカヌ事也

一文字ヤマヒトテ同字ヲ句ヲヘタテ二所ヲカヌ也句ヲヘ  
タテスシテクルシカラス喩シツツヤシツツノヲタマキクリ

カヘシナトイフトイフトモクルシカラス又句ヲヘタテタレト  
モタウ詞ハクルシカラスタウ詞トハ返事也喩ハ

サツキマツ花タチハナノカラカケハ昔人ノ袖ノカソスル  
カヤウハナタチハナノカモ袖ノカモ同香ノ字コソアレトモ

此香ヲカケハアノカノスルナトイフヤウニアヒシライタル  
字スヘテ一タウシテキラハレヌ物也タウ詞ナラネ心別ナ  
ルヲナシクハヤマヒアラス

イマコムトイヒシハカリナカ月ノアリアケ月ヲマチイツル  
カナ

アリアケノ月モナカ月モヲナシ月ノ字テアレトモアリアケ  
ノ月ハソラヲユク月ナカ月ハナミ月ナレハ心別也カヤウ同  
字ハユメノキラハルマシキ物也コレラ一トシテサラスハヤ  
マヒ物トシテ人ノマヘスマン事ヲハカルヘキナルヘシ

一和哥ニアマタノ品アリ長哥短哥旋頭混本廻文  
隱題折句誹階疊句是也

一長哥ト者卅一字ノ哥也短哥ト者スロニ句アマリテナカキ  
ナリイカナレハ卅一字ノミシカキヲ長哥ト云ナカキヲ短

ト云乎答卅一字ノ哥ハ初ノ五文字イヒタセナル事ヲキ  
ラスシテ終七至ルマテ云キハムル也短ケレトモキレサ  
ルヲハ長スルカユヘニ長哥名付クナカケレトモ短哥トイハ

ル事ハ初五文字イヒタセル事ヲハウチステエムヲサキ  
ヘタツネテキレユク物也長ケレトモコマカキレヌルヲハ短  
トスル故短哥ト名付ク此哥ヲヨムヤウハ五七トモノイヒ

タキホトヨミユキテサテアラムト思時七留テミレハイノ  
卅一字ノ哥ノヤウリノアルテイニトムルナリ

一セムトウト者卅一字今一句コシスソノ間五文字七文字心マカセテイタレル也

マスカミソコナルカケムカヒキテミル時コソシラヌラキナニアフコチスレ是ハスソ七文字イレタル也

ウナワタルヲチカタ人モノ申スハソソコニシロクサケルハナニノハナソモ是ハ腰七文字イレタルナリ

カノ岡ハキカルヲノコシカナカリソアリツモキミカキマサムミマクサニセム是ハ腰五文字ライレタルナリカヤウヨムヘシ

一コムホント者卅一字ノ哥終リノ七文字ステタル也五七トヨムヤウモアレトモソレハ異説也

証書云 アサカホノユフカケマタスチリヤスキハナノヨソカシ此哥ハマシヲトナツク尾ノナカキカ故也

一イハイフムト者カシカラモシモカラモカラモ同ヨマル事也

ムラクサクサノナハモシソナハラハナソシモハナノサクラム

イロハニ云クカラ火吹所有祝いはい笠ユレハ野原はらは西ニシニ中クホ布ヘヲヘ戸門トカと田有チマチ理有りアリ

詞ぬかぬ鏡トルル山名おしを我ワレワ春日かすか夜ヨルヨ名所たつた詞也れそれ山名そまそつみ也つみつねかね人

ネタ草なつな羅喉羅むみ向詞也ウカウ鳥也るく井ネカキイのちの野野たくお奥ヲトくとく詞也やとや字也まやま

ハシキけうけ教化ふくふニアリこみこ小神子えくえ食也てうて手打あのお寿字ノきわき詞也きしき儀色也ゆるゆ

詞也めすめまめ也糸の糸絵也ひるひ昼火也もとも本也せくせ何二付すかす

シラトリトラシシノコノコシムカハキハカム読様可有

一ラムタイト者ムネット云ヘキ事面アラハサテ下カクス事也ヒチリキカクシタル哥

ヲトシモコソモコトシモサクハナラソノヒチリキトシル人ソナキ

一ヲリノト者五七七上イヒタキ事ヲオキテヨム也コトタマエト云事ヲ

コトノハトキハナラハタノマナムマツハミヨカシ

ヘテハチルカトカヤウヨムヘシコノ哥ノヨムヤウレイキ云

此外此具足クツカフリトテアリ上下物ライハセタル也アハセタキ物スコシト云事ヲ

アフサカモハテハユキノセキモキス

タツネテトイコキナハカヘサシカヤウヨムヘシ此哥ノ礼義云

一ハイカイト者ヘンセツサキラアル人ノサレキヤウシタルヤウナル事也

秋ノナマメキタテルヲミナヘシアナコトシハナモヒトキ

カヤウニヨムヘシ

一テウクト者句コトニ同シ詞ヲ重タル也

コヽロコソ コヽロラハカル

コヽロナレ コヽロノアダハ

コヽロナリケリ

カヤウニ可レ読是大絶之大事也縦千金与トモ輒<sup>ス</sup>ユルスヘカラ  
ス穴賢<sup>ス</sup>